



Image Scanner fi シリーズ

安全上のご注意

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 本書では、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報を記載しています。本製品をお使いになる前に、本書および添付のマニュアルをよくお読みになり、安全に正しく使用していただきますようお願いいたします。また、本製品を使用中にいつでも参照できるように大切に保管してください。

2023年6月

ハイセイフティ用途での使用について






本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、および Wi-Fi Protected Setup ロゴは、Wi-Fi Alliance の商標です。その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

© PFU Limited 2018-2023

警告表示

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、以下のような表示をしています。

警告表示	説明
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
	三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。
	丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。
	黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

安全にお使いいただくために

本製品に関する重要な警告事項は以下のとおりです。

本製品を安全に使用していただくために、以下の記載事項を必ずお守りください。なお、以下の警告事項にある電源ケーブルは、ACケーブルとACアダプターを接続したものも含まれます。

警告



電源ケーブルは手が届く位置のコンセントに接続し、以下のような場合には、直ちに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、やけど、けが、感電の原因となります。

- スキャナーを落下させた場合やカバーなどを破損した場合
- スキャナーから発煙したり、スキャナーの外側が異常に熱くなった場合
- 異常な音がする、異臭がする場合
- スキャナー内部に異物（水やコーヒーなどの液体、クリップなどの金属片）が入った場合
- ACアダプターにひび割れなどの破損が生じた場合
- そのほか、故障かな?と思った場合



スキャナーを分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があるため、感電のおそれがあります。



このラベルが貼り付けてある箇所は高温になることがあります。やけどをするおそれがありますので、十分注意してください。



本スキャナーは国内専用です。海外では使用しないでください。海外で使用すると、発火、感電、故障の原因となります。



電源ケーブルをコンセントに確実に接続してください。確実に接続しないと、火災や故障の原因となります。



表示された電源電圧以外では使用しないでください。また、たこ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。



必ずスキャナーに添付の電源ケーブル（ACケーブルとACアダプター含む）を使用してください。延長コードは使用しないでください。異常な発熱や火災の原因となります。また、スキャナーに添付の電源ケーブルをほかの製品に使用しないでください。感電や故障の原因となります。



薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などをスキャナー、ACアダプターの周囲に置かないでください。プラスチックに付着すると、劣化やひび割れが発生し感電の原因となります。付着したときは、すぐにふき取ってください。















以下のような高温、多湿の場所や換気が悪くほこりの多い場所に、スキャナーを設置しないでください。高温によってカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、漏電や火災の原因となることがあります。通気性、換気性の良い場所で使用してください。








- ストープやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所
- 台所などの油煙が発生しやすい場所
- 風呂場、シャワー室、プールなどの水場
- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内、暖房機の近くなど、高温になる場所
- 布や布団のようなものがかぶさって、熱がこもりやすくなる場所



通気孔をふさがしないでください。通気孔をふさぐとスキャナー内部が高温になるため、火災や故障の原因となります。

	<p>スキャナーを移動する場合は、スキャナーに接続されているケーブル類を外してください。また、足元に十分注意して移動作業をしてください。ケーブルを接続したままスキャナーを移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。また、ケーブルが移動作業の妨げとなり、けがの原因となります。</p>
	<p>濡れた手で、電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。</p>
	<p>破損した電源ケーブルを使用しないでください。また、コンセントの差し込み口がゆるいときも使用しないでください。火災や感電の原因となります。 電源ケーブルを取り扱うときは、以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 濡らしたり、加工したり、結んだり、束ねたり、巻きつけたりしない ● 重いものを載せたり、ドアなどにはさんだり、落下させたり、衝撃を与えたりしない ● 引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしない ● 電源ケーブルのプラグに金属を近づけない
	<p>歯車やローラーなどの可動部に衣服の袖、ネクタイ、ネックレス、髪などが巻き込まれないようにしてください。けがの原因となります。</p>
	<p>温度が高くなる場所（スキャナー底面や AC アダプターなど）に長時間直接接触して使用しないでください。低温やけどの原因となります。</p>
	<p>長時間スキャナーを使用しないとき、または清掃するときは、スキャナーの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>アース付きの電源ケーブル（3 ピン）が添付されている場合は、必ずアースを接続してください。感電のおそれがあります。</p>
	<p>アダプタープラグ（アース接続用引き出し線付きの変換プラグ）を使用する場合は、必ずアースを接続してください。感電のおそれがあります。 アースを接続する場合は、必ずアースを接続してから、アダプタープラグをコンセントに接続してください。 アースを外す場合は、必ずアダプタープラグをコンセントから外してから、アースを外してください。</p>
	<p>清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナー内部に侵入し、故障やスキャナーの異常の原因となることがあります。また、静電気などによるスパーク（火花）によって引火するおそれがあります。</p>
	<p>1 か月に一度は、以下のような点検をしてください。定期的な点検をしないと、火災の原因となる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ケーブルがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 電源ケーブルに、異常な発熱、サビ、および曲がりなどはありませんか。 ● 電源ケーブルおよびプラグに細かいほこりが付いていませんか。ほこりが付着している場合は、柔らかい乾いた布でよくふいてください。 ● 電源ケーブルに、き裂や擦り傷などはありませんか。
	<p>電波利用が制限されている場所（医療施設など）では、その場所の指示に従い、スキャナーを無線 LAN に接続しないで使用してください。電子機器や医療用機器、植込み型医療機器（心臓ペースメーカなど）に影響をおよぼす場合があります。これは電波利用機器としての一般的な特性であり、本スキャナー特有の特性ではありません。詳細は総務省のホームページを確認してください。 (http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm)</p>
	<p>植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部位を本製品の RFID 機器のアンテナ部より 22cm 以内に近づかないでください。</p>

⚠ 注意

	スキャナーのどの部分も机から突き出さないように設置してください。 また、スキャナーが傾かないように、振動の少ない、平らな場所に置いてください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	小さいお子様の手の届く所に設置しないでください。けがの原因となります。
	近くで雷が起きたときは、スキャナーの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのあと、スキャナーに接続されているケーブル類を外してください。そのままにしておくとスキャナーを破壊し、お客様の財産に被害をおよぼす原因となります。
	スキャナーの上に重いものを置いたり、スキャナーの上で作業したりしないでください。故障やけがの原因となります。
	紙や A3 キャリアシートの縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。
	原稿の読み取り中に LED 光源を直接見ないでください。LED 光源を直接見ると、視力障害の原因となることがあります。なお、スキャナーの外にもれる LED 光源の照射は、危険を伴うレベルではありません。
	スキャナーと無線アクセスポイント / ルータは、できるだけ見通しのきく場所に設置することを推奨します。電波を遮るような障害物（壁や金属性の板など）があると、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりすることがあります。

使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、スキャナー本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任で使用してください。

本製品の使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。また、本製品の障害の保証範囲は、どんな場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品で提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改造または逆コンパイルや逆アセンブルなどの何らかのリバースエンジニアリングを行うことについて一切許可していません。

■ スキャナーの使用について

- 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避け、床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。静電気によって、スキャナーが誤動作することがあります。
- 複写機やシュレッターのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから電源をとらないでください。電源ノイズによって、スキャナーが故障または誤動作することがあります。
- 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、スキャナーが結露することがあります。そのまま使用すると、読み取り不良の原因となりますので、暖かい部屋に 1～2 時間放置して、内部が乾いてから使用してください。
- 雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。そのまま使用すると、読み取り不良の原因となります。万一スキャナーが濡れた場合は、ふき取るか時間を置いて乾いてから使用してください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。スキャナーが破損または故障する可能性があります。

■ 複製について

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体の発行の免許証、許可書、公文書、私文書などをスキャナーを利用して読み取り、プリンターで印刷するなど、不正に複製すると、その印刷物の使用の如何にかかわらず、法律に違反し罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条など

- 書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のそのほか、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

■ 本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内で使用してください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

■ 警告ラベルについて

警告ラベルは、絶対にはがしたりよごしたりしないでください。

■ タッチパネルの特性について

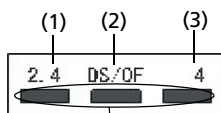
以下の状態は故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- 本製品で使用しているタッチパネルは、高精度な技術を駆使して作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが存在する場合があります。
- タッチパネルはその特性上、液晶変化で明るさや色合いに多少むらが発生することがあります。

■ 無線 LAN 接続環境での使用について

- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみ使用してください。海外で使用すると罰せられることがあります。
- 本製品は、お客様側の責任で、セキュリティ保護を考慮した無線 LAN 接続環境で使用してください。セキュリティ保護のない無線 LAN 接続環境で使用すると、お客様の個人情報などの大切なデータが、第三者に漏洩する危険があります。セキュリティ保護のない環境で使用された場合や、特殊な方法でセキュリティを破られた場合など、無線 LAN 接続環境で発生する損害や情報漏洩トラブルについては、当社では一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用周波数帯は 2.4GHz 帯または 5GHz 帯です。
 - 本製品の使用周波数帯が 2.4GHz 帯の場合
電子レンジ、産業・科学・医療用機器、工場の製造ライン、およびアマチュア無線局などが、本製品と同じ 2.4GHz 帯で運用されているため、以下の点に留意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで同じ使用周波数帯が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品の使用中に有害な電波干渉が発生した場合は、混信回避のための処置（使用するチャネルの変更、設置場所の変更など）を実施する、機器の使用を停止する、または本製品の無線 LAN 接続を止めて、電波を停止してください。
 - そのほか、電波の干渉などで何かお困りのときは、本製品を購入した販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
 - 本製品の使用周波数帯が 5.2/5.3GHz 帯（W52/W53）の場合
電波法の規定により屋外では使用できません。
- 本製品の背面にあるラベルに記載されている以下のマークには次の意味があります。

- 本製品の使用周波数帯が 2.4GHz 帯の場合



- (1)：2.4GHz の周波数帯域を使用する無線装置です。
- (2)：変調方式に DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。
- (3)：想定される干渉距離は「40m 以下」です。
- (4)：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できます。

- 本製品の使用周波数帯が 5GHz 帯の場合

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52 W53 W56

規格、使用周波数帯 W52 (36 ~ 48ch)、W53 (52 ~ 64ch)、W56 (100 ~ 140ch) を示しています。詳細は以下のとおりです。

チャンネルボンディング	使用できるチャネル
HT20	36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140
HT40	38, 46, 54, 62, 102, 110, 118, 126, 134
HT80	42, 58, 106, 122

免責事項

■ イメージデータの原稿再現性について

スキャナーによって原稿を読み取って作られるイメージデータが、お客様の必要とする精度および品質を満たしていること（例えば寸法精度、情報量、忠実度、色調などの原稿の再現性）を確認してください。

また、読み取った原稿を破棄するときは、原稿を読み取って作られたイメージデータを必ず点検したうえでお客様の責任で行ってください。

- 原稿を読み取って作られるイメージデータの一部が欠けたり、損失することがあります。その場合は、マニュアルに従って、以下の点に注意してください。
 - 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）を確認してください。
 - スキャナー内部の清掃をこまめに行ってください。
 - 消耗品は定期的にお取り替えください。
- 原稿の状態によっては、原稿の読み取り時にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、イメージデータの一部または全部が欠落することがあります。
- スキャナー内部がよごれた状態で読み取りを行うと、原稿の読み取り時にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、イメージデータの一部または全部が欠落することがあります。
- 読み取り設定（解像度、読み取り色、読み取り面、自動傾き補正、自動白紙除去など）によっては、原稿が以下のように読み取られます。
 - 解像度不足でイメージデータの文字が不鮮明となる
 - カラー原稿のイメージデータがグレーまたは白黒となる
 - 両面原稿のイメージデータが片面となる
 - イメージデータの一部が欠けたり、原稿のサイズと異なるサイズのイメージデータとなる
 - 原稿の白紙ページが削除されない、または白紙ではないページまで削除される
 - 原稿が意図しない向きに読み取られる
 - バーコードやパッチコードが正しく認識されない
 - パンチ穴が正しく除去されない
- 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）または消耗品の状態によって、複数枚の原稿を同時に送り（マルチフィード）、イメージデータにページ抜けが発生することがあります。
- 原稿の紙質が指定内の紙質であっても原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）やスキャナー内の紙送り機構・消耗品の状態によって原稿づまりが発生することがあります。この場合、イメージデータの一部または全部が欠落することがあります。また、原稿づまりによって原稿を損傷することがあります。
- 蛍光マーカーを引いた原稿の場合、蛍光マーカーの色や色の濃度によって、色を再現できない、または色調の再現性が異なることがあります。


■ 無線 LAN 接続環境で使用する場合の通信速度について

通信速度は、規格上の通信速度の表記であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、お客様がスキャナーを使用する環境によって異なります。また、以下の使用環境の場合は、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりします。





- スキャナーと無線アクセスポイント/ルータの距離が極端に離れている。
- 電波の干渉が発生するような機器（電子レンジなど）の近くでスキャナーを使用する。

- **無線 LAN 接続環境（使用周波数帯が 5GHz 帯）** で使用する場合は通信について
 スキャナーの使用周波数帯が 5GHz 帯の W53（52～64ch）または W56（100～140ch）の場合、無線アクセスポイントの DFS（Dynamic Frequency Selection）機能が動作すると、W53 または W56 の通信は一度切断されます。
 DFS 機能によって、無線アクセスポイントが再起動した場合は、W53 または W56 以外のすべての通信も一度切断されます。

各種規格

<p>電波障害自主規制について この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書および添付のマニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。</p> <p style="text-align: right;">VCCI-B</p>
<p>高調波ガイドラインについて</p> <p style="text-align: center;">JIS C 61000-3-2 適合品</p> <p>JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。</p>
<p>国際エネルギースタープログラムについて 当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>電波法について 本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機能を搭載した装置です。スキャナー背面にある証明ラベルをはがしたり、スキャナーを分解したり、内部の回路などを改造して使用することは、法律で禁止されており、お客様が罰せられることがあります。また、分解や改造によって発生するどのような損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。 本製品は日本国内の電波法令に定める型式指定を取得しており、高周波利用設備の許可申請手続きが不要です。</p>

スキャナー上のマーク

	スキャナーの電源を投入 / 切断します。
	直流（DC）電源を接続します。
	USB 機器を接続します。
	LAN コネクタを接続します。

故障・修理

スキャナーの修理や部品の交換が必要なとき、異変を感じたり、故障かな？と思ったときは、まず、オペレーターガイドの「困ったときには」を参照し、スキャナーの接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

それでも解決しない場合は、スキャナーを購入した販社 / 販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

スキャナーの修理はお客様自身で行わないでください。スキャナーを分解した場合は保証の対象外となり、分解によって発生するどのような損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。

リサイクル

■ 使用済製品の廃棄とリサイクルについてのお願い

- 個人でご購入のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

お問い合わせ先

故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター
ホームページ	以下のホームページをご覧ください。 https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html 

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いいたします。
- 本書の内容は、予告なく変更することがあります。